

学校法人明浄学院

平成17年度事業報告書

法人の概要

建学の精神

『明(あか)く、浄(きよ)く、直(なお)く』の精神に則り、豊かな心と深い教養を備え、
知性に輝く有為の人材の育成

主な沿革 (H.18.5.1)

- 1921.4 大阪府大阪市阿倍野区に「明浄高等女学校」を開校。
- 1948.4 学制改革に伴い「明浄学院高等学校」「同中学校」となる。
- 1985.4 大阪府泉南郡熊取町に「大阪明浄女子短期大学(英語科)」開学。
- 1989.4 同短期大学に文芸科を増設。
- 2000.4 短期大学と共用敷地に「大阪明浄大学(観光学部・観光学科)」開学。男女共学。
- 2003.4 短期大学 2004年度以降の入学生募集停止。
- 2004.4 主たる事務所を大学所在地に移転。
- 2004.9 明浄学院中学校廃止認可。
- 2006.4 大阪観光大学に大学名称変更。

設置する学校 (H.18.5.1)

- 大阪観光大学 観光学部・観光学科
- 大阪明浄女子短期大学 英語科・文芸科(学生募集停止中)
- 明浄学院高等学校 全日制・普通科

学生・生徒数 (H.18.5.1)

	入学定員	3年編入定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	合計
大 学	190	20	800	148	147	154	158	607
短期大学	200	-	400	0	0	-	-	0
高等学校	270	-	890	188	207	222	-	617
計	660	-	2090	336	354	376	158	1,224

短期大学は学生募集停止、高等学校は定員に替え募集人員。

教職員数 (H.18.5.1)(契約教職員を含む専任)

	教育職員	事務職員	計
大 学	26	19	45
短期大学	-	-	-
高等学校	45	6	51
法 人	5	-	5
計	76	25	101

法人の教育職員は学院教育支援センター員をいう。

法人の事務は理事長室長(理事長兼務)の下、大学で処理する。

役員等数 (H.18.5.1)

理事	9
監事	2
評議員	25

常勤の役員

理事長	大学観光学部教授	三上貴彦
理事	大学学長	塩澤 潔
理事	大学副学長	布引敏雄
理事	高等学校校長	岡田 修
理事	高等学校教諭	谷 準一

非常勤の役員

理事	竹上暁美
理事	中尾浩一
理事	播磨荘一郎
理事	堀 弘二
監事	中山俊治
監事	見鳥信吉

各学校の事業実績の概要

平成17年度学校事業実績報告書

大阪観光大学

目 標 : 全国唯一の観光系単科大学としてその評価を確立することを目標とする。

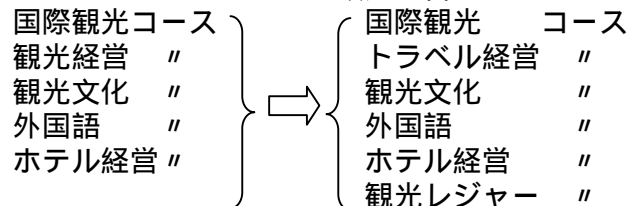
計数目標 : 帰属収支差額比率を 36.2%とする。 36.2%と達成。

志願倍率 : 2.0倍 2.0倍と達成。

施 策 : 平成17年度目標および実施内容()で示す)

項目1 今年度カリキュラムを全面改定し、実習科目や実学科目も幅広く開講する。また、セメスター制(2学期制)を採用し学生のニーズに応える。
カリキュラムを改定し、また、セメスター制を開始。

項目2 既存の5コースをカリキュラム改定に合わせて6コースに再編する。



6コースに再編し、さらに教員配置として、国際観光系、観光経営系、観光文化系の3系列を創設。

項目3 今年度も科目等履修生を社会人に対して積極的に募集する。

開講科目69科目に、9人11科目履修

項目4 キャリアアップ講座を引き続き今年度も科目履修生と同様、社会人にも公開する。

開講講座6講座に、4講座62人登録
通関士 2名合格

項目5 従来キャリアアップ講座として開設していた国内旅行業務取扱主任者講座を今年度からそれに対応する科目を正課に取り入れ国家試験合格率向上を図る他、キャリアアップ講座としては、昨年度と同様、総合旅行取扱管理者(旧一般旅行業務取扱主任者)講座、旅程管理主任者講座、サービス接客検定講座等の観光系の資格取得率向上を図る。

開講講座7講座に、144人登録
総合旅行取扱管理者試験 4人合格
国内旅行取扱管理者試験 11人合格
旅程管理主任者試験 2人合格
通関士 2人合格

項目6 地域との連携は、委員会を設けあるいは教員が独自に活動する等活性化を図ってきたが、特に今年度も「大学コンソーシアム大阪」や「南大阪地域大学コンソーシアム」との一層の連携を図り、地域貢献を図る。

大学コンソーシアム大阪関係 8回の会合出席
学長が同会監事に就任
南大阪地域大学コンソーシアム関係 6回の会合出席

- 項目7 最近の教育の流れである高大連携を視野に入れ、観光の裾野を広げて高等学校への出張授業を拡大する。
2校実施（府立日根野高校、私立太成学院高校）
- 項目8 国際交流についてさらなる強化を図り、今年度も積極的に留学生を受け入れる。
受け入れ留学生 3カ国（中・韓・蒙） 35名
送り出し留学生 2カ国（米・豪） 3名
- 項目9 産官学の連携を図り、特に「大阪観光コンベンション協会」や「関西広域連携協議会」との連携を図る。
大阪コンベンション協会及び南大阪地域大学コンソーシアム
共催の「南大阪の歩き方」事業に学生10人協力
- 項目10 生涯学習の推進を図る上から、e-ラーニングの調査・研究を行う。
各学校のe-ラーニングの取組み状況等を調査・研究

明浄学院高等学校

重点項目についての実績と反省・検討課題は次の通り。

1. 前年度までの校務分掌選出制度では、生徒募集委員の重任任期による大量の入れ替えが発生するので、中学校や塾への継続した関係を維持することを目的に、生徒募集委員の選出方法を変更し、生徒募集体制の強化を図った。また、特進コースにおいては中学校成績優秀特待生制度の新設を行った。しかし、平成18年度生徒募集においては、クラブ推薦数減少及び卒業学年生徒数（244名）と入学生生徒数（188名）の差から全校生徒700名体制は達成できなかった。

【参考】

入学年度	平成16年	平成17年	平成18年
中学校成績優秀特待			5名
入試成績優秀特待生	12名	9名	5名
部活全免特待生	4名	0名	2名
部活公立並特待	6名	28名	6名
部活半額特待生			8名
部活入学金特待	35名	39名	32名
卒業生入学金免除	15名	12名	14名

中学校成績優秀特待と部活半額特待生は平成18年度入試より実施。

平成19年度生徒募集に向けては、生徒募集委員の任命制導入と共に、生徒募集委員の分掌の専従化により募集体制の強化を図ると共に、入学生の多数を占める普通コースの拡充が急務とし、現在その具現化を行っている。

2. 教職員数の前年比較

	専任教員	常勤講師	非常勤講師	専任事務職員	常勤事務職員
H17年	42	5	26	5	7人11月 1
H18年	36	9	20	4	2
増減	6	4	6	1	1

専任教員の採用を休止し、常勤講師を中心とした教員配置に移行した。

専任教員の削減に伴い、専任教員のみによる担任数の不足が起きている。これについては担任業務を行う常勤講師制度の導入等の検討が必要である。

3. 人件費は補正予算を策定し、一時金を年間2ヶ月支給した。そのため当初予算比50,598千円の増加となったものの、平成17年度の人件費総額（退職金を除く）の視点からは、前年度比59,783千円の減少となった。教育経費、管理経費はほぼ当初予算通りに終始した。今後は退職金乗率（退職金財団乗率と法人乗率の差）、早期退職制度の見直しが急務であると考えている。
4. 英会話教育の継続については、昨今の国際化教育推進の情勢から当面継続の必要性があると考えている。国際交流の推進については、昨年度 Marist Sisters' College.Woolwich 校との間に「国際交流提携校確認書」を交わし、今年度も修学旅行で Marist 校へ交流訪問を実施すると共に、「短期交換留

学制度」の提携確立を予定している。

5. 平成17年度の進学実績は別紙の通りです。看護医療系進学コースでは、看護専門学校への合格は100%実績を維持することができた。ただ、特進コースにおいては在籍数が16名と少なく、また入学当初7名いた入試成績優秀特待生も2名に減少した。これの要因から受験へのモチベーションの低下と受験層の薄さが影響し、当初の課題である「関関同立」への合格実績は出なかった。

今後の課題として、特進コースについては適正な生徒数を確保し、生徒間の緊張と競争意識を向上させ、受験層の厚みを持たせることが重要と考えている。

平成18年度入試合格状況		明浄学院高等学校	
合格大学名	現役	合格専門学校名	現役
カリフォルニア州立大学ハイワード校	1	大阪労災看護専門学校	1
京都産業大学	2	大阪厚生年金看護専門学校	1
近畿大学	1	大阪済生会野江看護専門学校	1
関西外国語大学	1	近畿大学附属看護専門学校	3
創価大学	1	住友病院附属高等看護学院	1
武庫川女子大学	1	松下病院附属看護専門学校	1
桃山学院大学	3	奈良県立五條病院附属看護専門学校	2
帝塚山大学	4	奈良県立三室病院附属看護専門学校	3
大阪音楽大学	1	奈良県立奈良病院附属看護専門学校	1
大阪芸術大学	3	西宮市医師会看護専門学校	1
大阪観光学	11	泉大津市医師会附属看護高等専修学校	1
大阪総合保育大学	1	奈良県医師会看護専門学校	1
大阪大谷大学	2	PL学園衛生看護専門学校	1
大阪学院大学	1	ベルランド看護助産専門学校	1
大阪経済法科大学	1	河崎会看護専門学校	1
大阪国際大学	1	関西看護専門学校	2
大阪樟蔭女子大学	4	清恵会医療専門学校	2
大阪体育大学	1	浅香山病院看護専門学校	2
大手前大学	1	大手前看護専門学校	1
インターナショナルバシフィック大学	1	関西総合リハビリテーション専門学校	1
畿央大学	1	日本医療学院専門学校	2
京都光華女子大学	1	関西美容専門学校	1
神戸松蔭女子学院大学	1	高津理容美容専門学校	1
神戸山手大	1	国際東洋医療柔整学院	1
四天王寺国際仏教大	3	堺歯科衛生士専門学校	1
相愛大学	3	大阪医療技術学園専門学校	1
園田学園女子大学	1	大阪医療秘書福祉専門学校	2
宝塚造形芸術大学	1	大阪外語専門学校	1
帝塚山学院大学	2	大手前栄養学院	1
奈良大学	1	日本歯科学院専門学校	1
梅花女子大学	1	その他専門学校	31
羽衣国際大学	1		
阪南大学	4		
合格短大名	現役	合格延べ人数 大学合格者人数 63名 短期大学合格者人数 86名 専門学校合格者人数 93名 (内看護・医療系合格者 43名) 就職 6名	
大阪音大短大部	5	平成17年度卒業生数 241名 進路先内訳 大学進学 26.1% 短期大学進学 35.7% 専門学校進学 29.0% 就職 2.5% その他 6.7%	
大阪キリスト教短大	2		
大阪薫英女子短大	2		
大阪城南女子短大	3		
大阪女学院短大	3		
大阪成蹊短大	2		
大阪大谷大短大部	5		
関西外国語大短大部	5		
関西女子短大	4		
四天王寺国際仏教大短大部	5		
常磐会短大	2		
大阪芸術大短大部	4		
プール学院大短大部	2		
大阪体育大学短大部	1		
武庫川女子大短大部	3		
大阪樟蔭女子短大	1		
龍谷大短大部	1		
創価女子短大	1		
その他短大	35		